

センター通信

平成24年6月1日



居安思危



歴史的に繰り返される大地震や、異常気象の影響が最近増えてきた竜巻やゲリラ豪雨。私たちの生活を脅かす災害が、各地で頻繁に起こっています。いつ被災者になるか分からない今日、福岡は災害のない地域と言う定説の中で、平成17年西方沖地震を体験し、認識を改めた人も多いのではないのでしょうか。この太宰府でも水害や土砂災害を何度も受け、さらに警固断層による地震の可能性がささやかれ、防災に対する市民意識は高揚しています。私は、昨年11月に、岩手県の大槌町の災害ボランティアセンターに入り一週間活動中、自然の驚異・被災者の現状を見聞きし、改めて防災とは何かを考えさせられました。

そして今年の4月に14名の仲間とともに「防災ボランティアネットワーク」を組織し、社会福祉協議会と連携し活動を始めました。大規模災害の場合、重要な役割を担うのが「災害ボランティアセンター」です。また、被災者とボランティアを結びつけ、家族・家などを失い生活に希望をなくした被災者と向かい合い、復興と自立を手伝う役割を担うのが、ボランティアセンターのコーディネーターです。今年の防災講座は、座学にD I G（図上訓練）を取り入れ実施し、このコーディネーターを育成していきます。



太宰府市の土砂災害

日常生活のなかで、いつどこで被災するか分かりません。「居安思危」「思則有備」「有備無患」これは中国の歴史書「春秋」にでてきます。平穏な時こそ危険に備え対策を話し合うことが大切。災害を理解することが自分を助け、家族を守ることに繋がっていきます。



ボランティア活動の様子

太宰府市NPO・ボランティア支援センター

原田 保幸



団体紹介

行政書士グループ「ちくしふれあいライフサポート」

私たち、「ちくしふれあいライフサポート」は、地域の皆様に少しでもお役に立ちたいと願い、行政書士と社会保険労務士の6名で、太宰府市NPO・ボランティア支援センターと協働で平成19年に活動を始めました。

今まで約5年間、毎月1回、第2日曜日に「暮らしの悩み無料相談会」を太宰府市いきいき情報センターで行って参りました。また、同支援センターのまちづくり実践講座としてセミナーを毎年6回行って参りました。

高齢化社会の中で私たちの身の回りには、多くの複雑で困難な問題があります。遺言、相続、成年後見、財産管理、住居の問題、家族の問題、夫婦の問題、消費者トラブル、社会保険などいろいろな悩みごとがあります。また、障がいのある方やその家族の方の法務相談や手続、このような問題のご相談に応じています。今後はNPO法人の各種の手続相談についても対応していきたいと考えています。相談日には、お気軽にご来場下さい。

相談者の心配ごとが少しでも良い方向に進み、問題解決の糸口がつかめたらと思いつながりながらお話を伺っています。相談者が説明を受けた際、納得され、ほっとした表情をされたとき、少しはお役に立てたかなと思ひ、相談員としての喜びがあります。相談員は、相談内容について固く秘密を守らなければなりません。私たちに信頼して頂き、安心してご相談ください。

今年度から講座名が「ライフサポートあんしん講座」に変わりました。引き続き毎月第2日曜日に太宰府市いきいき情報センターにて「無料相談会」を行う予定です。詳細については、太宰府市の広報にて毎月ご案内しています。どうぞよろしくお願い致します。

行政書士グループ「ちくしふれあいライフサポート」

絆創幸2

伝えあおう！

～人をつなぎ・命を守る～

日時：平成24年7月8日（日）13:00～15:30

場所：いきいき情報センター 2F多目的ホール

歯科医師、薬剤師のお立場で宮城県南三陸町に支援に行かれたお二人に、感じてこられたこととお話しいただき、医療・防災・地域連携など災害時の対応を学び、日頃の備えを考えます。

主催：協働わーくす エ・コラボ

共催：太宰府市NPO・ボランティア支援センター

当センターより 定休日変更のお知らせ

平成24年6月～平成25年3月まで
で試行期間として定休日を、以下の
ように変更します。

毎週日曜日・祝日
毎月最終水曜日

8月13日～8月15日

12月28日～1月4日

～みんなの広場～



私は、「人の役に立ちたい、自分の視野を広げたい」という思いで、ボランティア支援センターに紹介してもらったボランティアに参加させてもらいました。

「人の役に立ちたい」という思いは昔からあり、将来福祉関係の仕事がしたくて、今の大学に進学しました。しかし、大学の講義を受け、アルバイトの経験をしていくうちに、将来本当はどんな仕事がしたいのか迷ってしまいました。

人の役に立ちたいという根本的な考えは変わりませんが、どういう形で役に立つのか、どんな職業が自分に向いているのか。それを見つけるには、いろんな経験や知識だとか、もっと広い視野を持たなくちゃいけないと私は思っています。ボランティアの経験というのは、このいろんな経験や知識・広い視野につながるものだと思います。ボランティアに実際に参加してみて、楽しい時もあれば、こうしておけばよかったと思う時もあります。ただ、ボランティアの経験は絶対無駄ではなかったし、いろんな人の考えに触れることができました。大学での生活は、本当にあっという間です。今だからこそ、できる事もあると思います。その一つがボランティアだと思うし、これからも興味をわきそうなボランティアがあれば参加してみたいなと思います。



福岡医療福祉大学 3年 大石 陵介

カウンスリング基礎講座を受講して

吉田久美子先生のカウンスリング基礎講座に参加して、「伝えることの難しさ」について学んだ。先ほど会ったばかりのよく知らない人とパートナーになり、お互いに自己紹介をすることになったが、自己紹介がうまくできないうえに、ほとんどの人が相手の名前・住所など正確な事を覚えていない。しかし、少しやり方を変えてみると、真剣に話を聞き合い、持ち時間の2分後には笑顔で拍手し合い、満足そうな笑顔があふれていた。今回の講座で自分らしさを学び、魅力ある言葉で伝える方法を学んだ。今後どんな出会いと発見が待っているか、楽しみだ。

樋口 軍時

申し込み・問い合わせは「太宰府市NPO・ボランティア支援センター」をお願いします。

太宰府市五条三丁目1番1号 いきいき情報センター 1階

平日 10:00～18:00 土曜日 12:00～18:00

(休業日 毎週日曜日、祝日、毎月最終水曜日、8月13日～15日、12月28日～1月4日)

電話 092-918-3633 ファックス 092-918-3644

E-mail dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

HP <http://dazaifu-volusen.sakura.ne.jp/>



団体紹介

人に寄り添う“手当て”。セラピューティック・ケアは、優しく撫でることで心と身体に癒しをもたらすメンタルケアです。「痛い痛い飛んでいけー」とお母さんがそっと撫でてくれた手の温かさは、それだけで痛みを和らげてくれたものでした。主に病人や高齢者の癒しを目的として英国赤十字社で開発されたケアですが、太宰府市の小・中学校の総合学習をはじめ、教育の現場にも取り入れていただいています。「中3の息子にハンドケアをしてもらう日がくるなんて夢にも思っていませんでした」という母親の喜びの声。福祉施設訪問の体験授業では、高齢者の方々の笑顔に出会えます。短時間でコミュニケーションが取れる、このケアは、ボランティア体験としても大きな効果を得られます。セラピューティック・ケアの無料体験講習会が、6月15日（金）10時より、いきいき情報センターで開催されます。また五条の「サロン華」でも体験していただけます。ぜひお出かけください。



セラピューティック・ケアの無料体験講習会が、6月15日（金）10時より、いきいき情報センターで開催されます。また五条の「サロン華」でも体験していただけます。ぜひお出かけください。



日本セラピューティック・ケア協会
理事長 秋吉 美千代

講座スケジュール

日時	場所	講座名	講師など	参加費
6/9(土) 14:00~16:00	206・ 207号室	カウンセリング基礎講座 「自分を伝えよう」	吉田 久美子	100円
6/23(土) 15:00~17:00	208号室	災害ボランティア講座 「災害救援の全体像」	福岡県 社会福祉協議会	無料
7/8(日) 13:00~16:00	208号室	ライフサポートあんしん講座 「相続及び遺言の実務的事例」	行政書士 田浦 英紹	無料
7/14(土) 10:30~12:00	201号室	コーディネーター育成講座(中級) 「グループをまとめるコツ」	吉田 久美子 松澤 秀樹	100円
7/14(土) 14:00~16:30	201号室	コーディネーター育成講座(初級) 「絶対的選択と相対的選択」	吉田 久美子 松澤 秀樹	100円
7/28(土) 15:00~17:00	208号室	災害ボランティア講座 「災害ボランティアコーディネーターとは」	防犯ボランティア ネットワーク	無料

